



平成27年5月8日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 バ ロ ー
代表者の役職名 代表取締役会長兼社長 田代正美
(コード番号:9956 東証・名証一部)
問い合わせ先 常 務 取 締 役 篠 花 明
管 理 本 部 長
電 話 番 号 (0 5 7 2) - 2 0 - 0 8 0 1

「バローグループ中期3ヵ年経営計画」策定のお知らせ

当社は、平成28年3月期から平成30年3月期までの3年間を対象とする「バローグループ中期3ヵ年経営計画」を下記のとおり策定しましたので、お知らせいたします。

記

当社は、製造から流通・販売までを一貫して担う「製造小売業」としてのビジネスモデル構築を目指してまいりました。「事業規模の拡大」、「製造小売業への進化」、「現場力の強化」を3つの歯車と位置づけ、これらをバランスよく組み合わせ、そのスピードを加速することによって、企業価値の向上を図ろうとしております。

当社は、この「3つの歯車」戦略を柱に経営効率の改善を図りつつ、次なる成長への基盤を確立するため、「バローグループ中期3ヵ年経営計画」を策定し、その実現に取り組んでまいります。また、本計画の遂行を通じ、お客様、お取引先様、株主様等の多様なステークホルダーとの新たな関係性構築を目指します。

1. 基本方針 「経営効率の改善と次なる成長への基盤確立」

2. 重点施策

中核となるスーパーマーケット事業につきましては、商品構成の改善や既存店の改装により、既存店の競争力を向上し、収益性の改善を図ります。また、近年整備してきたインフラの稼働率を高めるとともに、商品力の向上や店舗業務の効率化に取り組みます。さらに、次なる成長に向けて、ドラッグストア事業やホームセンター事業を牽引事業と位置づけ、業容の拡大を図るとともに、平成27年10月1日付で持株会社体制へ移行し、事業会社の成長と持株会社によるガバナンス強化を促す新たな組織基盤を構築いたします。

(1) 構造改革の推進

- ①スーパーマーケット事業の既存店強化
- ②インフラ活用レベルの向上
- ③情報システム整備によるマネジメント強化

(2) 成長ドライバーの育成

- ①ドラッグストア事業・ホームセンター事業の業容拡大
- ②スーパーマーケット事業の継続出店
- ③新規事業の創出

(3) 組織基盤の強化

- ①持株会社体制への移行とガバナンス強化
- ②教育体制の充実と人材開発

3. 連結数値目標（平成30年3月期）

(1)数値目標	営業収益	5,500 億円
	営業利益	210 億円
	経常利益	220 億円
	当期純利益	130 億円
(2)収益性指標	総資産経常利益率（ROA）	8.0%
	営業収益経常利益率	4.0%
	総資産回転率	2.0 回
	自己資本当期純利益率（ROE）	11%以上
(3)安全性指標	デット・エクイティ・レシオ	0.9 倍以下

4. 配当方針

今後の長期的・安定的な事業展開に備え、企業体質の強化のために内部留保を高めつつ、株主各位に対して、安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針としております。この方針に基づき、連結配当性向 25%を中長期的目標としております。

以 上